

## 米政府は子供を拷問する——「人権ウォッチ」報告

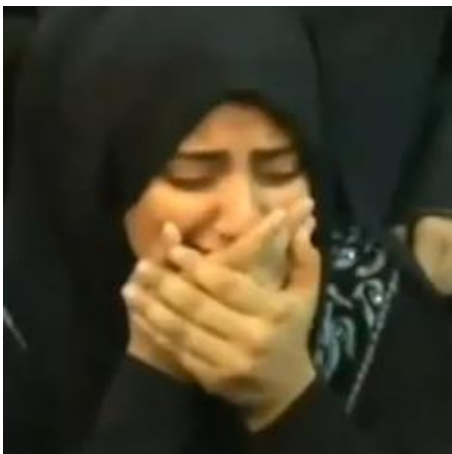
【訳者注】こういうものを翻訳紹介するのは、アメリカに対する憎しみを煽り立てるためではない。起こっている事実を知り、その本質を探究するためである。単に憎むのは、向こうの思うつぼにはまるだけである。

アメリカの司法機関のトップが腐っているということを、P・C・ロバーツが指摘するのは、これが初めてではない。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/150731.pdf> これは国家の根が腐っているということ、そもそも国家の体をなさないということである。今のアメリカに、封建主義体制の復活を見る学者は、何人かいるようである。CIA という悪事専門の国家機関が、内部的に安泰ではありえないことは想像がつくが、その具体例をここに紹介する。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/141217.pdf>

特に注目すべきは、論者が、写真の拷問者の表情から読み取っている、他者に苦しみを与えることから得ている喜びである（3頁）。これは単なる偶然的な、個人の悪癖の問題ではないであろう。アメリカの戦争の根底に、故意に増大させる恨みや苦痛、国家的サディズムというべきものを感じ取れないだろうか？ わが国でも統計によると、児童虐待件数は増える一方である。これも孤立した現象ではありえない。

Paul Craig Roberts

August 1, 2016, Information Clearing House



「人権ウォッチ」(HRW) は、報告書「過激な手段：国家安全保障への脅威として拘留され、虐待されている子供たち」(Extreme Measures: Abused Children Detained as National Security Threat)」を発表した。

<https://www.hrw.org/report/2016/07/28/extrememeasures/abuses-against-children-detained-national-security-threats>

この報告書を読む限り、イスラエルとアメリカが2大虐待国家であり、ボコハラムが遠く第3位を占める。イスラエルとアメリカでは、どちらがより酷いか？ アフガニスタン、イラク、そしてシリアでの、拷問や拘留を伴ったアメリカの暴力を考え、こうした犠牲者をアメリカの総計に含めるなら、アメリカが子供の拷問においてナンバーワンである。イスラエルは、ワシントンの支持がなければ、パレスチナの子供を虐待して逃げ切ることは考えられないから、イスラエルの虐待を、ワシントンの総計に加えることができる。

[キューバ南端の] グアンタナモ湾は、アフガニスタン、北アフリカ、中東のイスラム教に対するワシントンの戦いから、距離的に遠く離れている。しかし、暴力と言え、米軍が被拘束者に加える暴力しかないグアンタナモでさえ、米政府は子供を拷問している、と人権ウォッチは報告している。

どのような軍隊が子供を拷問するのだろうか？ 私に考えられる唯一の答えは、自尊心をもたない軍隊である。

どんな形の政府が、CIA に拷問のテクニックを教える指導料として、2人の心理学者に8,100万ドルも支払うだろうか？ それは、米国法にも国際法にも全く敬意を払わない、無法政府だけである。

[http://www.huffingtonpost.com/2014/12/09/cia-torture-contractors\\_n\\_6296758.html](http://www.huffingtonpost.com/2014/12/09/cia-torture-contractors_n_6296758.html)

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/141213.pdf>

米司法省官吏 John C. Yoo と Jay. S. Bybee によって書かれた、拷問メモを思い出してみよう。米国法と米が署名している国際法の両方によって禁じているにも関わらず、被拘束者を米政府が拷問することを正当化したこのメモは、市民権リバタリアンによって、法的無能者または犯罪者（あるいは両方）の仕事として、弾劾されている。にもかかわらず、ジョン・ヨーは、カリフォルニア大学バークレー校の法学教授であり、ジェイ・バイビーは、ホワイトハウスの拷問者に仕えたことによって、最高裁のすぐ下の米連邦裁判官に指名された。もしヒトラーが大統領になれば、バイビーとヨーは最高裁に出世するだろう。

ヨーとバイビーが占めるこの地位は、アメリカ合衆国が無法国家であり、この無法性がアメリカの法的、政治的、また教育的諸機関によって、そしてアメリカ人民によって、受け入れられていることを、世界に向かって語るのに十分である。

いかなる自尊心をもつ親が、自分の息子や娘を、拷問のために法をゆるめるような“法学者”のいる大学へ、送ろうとするだろうか？

もしあなたが、第 9 米巡回区控訴裁判所の裁判官だったとして、一人の拷問者とその裁判所に任命されてやってきたら、あなたはこの犯罪者を歓迎しますか、それとも、自分自身の法に敬意を払わない政府に抗議して、辞職しますか？

これまでに何人の FBI 職員が、“テロリスト”のニセ旗でっちあげをめぐって、辞職していたことだろう。

民主党全国委員会が、民主党集会の空席を埋めるために、一晚 50 ドルでアメリカ人を雇うことができるのなら、それは、アメリカの誠実さの値段について何を語るだろう？

<http://www.zerohedge.com/news/2016-07-28/did-dnc-hire-actors-below-minimum-wage-work-convention>

あなたは覚えておられるだろうか——775 名のグアンタナモの囚人が、米防衛長官と米副大統領によって、地上で最も危険で暴力的な者たちだと言われたことを。我々は、これら被拘束者の何人が、政府の根拠のない主張を支持する自白を引き出そうとして、拷問されたかを決して知ることはないだろう。しかし彼らの 9 人は拘留中に死んでいる。知られているのは、拷問の事実と、被拘束者が危険で凶暴だという最高責任者からの証言にもかかわらず、2016 年 7 月 12 日の時点で、被拘束者の 90%が、罪状なしとして釈放されたことである。76 人だけが残ったが、彼らを有罪とするための証拠はなさそうである。彼らが拘留され続ける理由は、明らかに、米政府が 100 パーセント間違っていたと言われなければならないためである。90 パーセントの間違いなら、政府の仕事として十分ということだろう。

[https://en.wikipedia.org/wiki/List\\_of\\_Guantanamo\\_Bay\\_detainees](https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_Guantanamo_Bay_detainees)

<http://projects.nytimes.com/guantanamo/detainees>

あの Abu Ghraib の囚人たちの拷問の写真を覚えておられるだろうか？ あれらの写真はぞっとするものだったが、あれはまだ穏やかな方なのだ。他の写真は公表されていない。これらの写真は拷問以上のものを明らかにしている。それは、米兵たちが囚人を拷問することから得ている、この上ない喜びを表している。彼らは、他の人間を虐待することに、生きがいを感じているのだ！

フェミニストのある者は、女性兵士を弁護して、これは彼女が、女性として男から受けた虐待に対して、男性一般に仕返しをしているにすぎないと言った。これは罰せられたいくつもの抗議の一つだが、その一方で、本当の責任者は何の咎めも受けていない。

Abu Ghraib の写真は伏せることを要求された。イラクにおける米司令長官 Ricardo Sanchez 中将は、Antonio Taguba 少将に、調査に基づいた拷問の報告書をまとめるように

指令した。タグバ少将は、拷問をうまく説明して片づけるだけでよかった。そうすれば彼は、2つ星から3つ星の将軍に昇格できる。

もしそれが、サンチェスの意図したことなら、彼は人選を誤った。タグバ少将は、次のような正直な報告書を提出した――

「2003年の10月と12月の間に、Abu Ghraib 拘留所において、多数のサディスティックな、隠しようもない、気まぐれな、犯罪的虐待が数人の被拘束者に対して加えられた。この組織的で不法な、被拘束者への虐待は、Abu Ghraib 刑務所 1-A セクションの憲兵親衛隊（第 372 憲兵カンパニー、第 320 憲兵大隊、第 800 憲兵旅団）の数人のメンバーによって意図的に行われていた。虐待の申し立ては、詳細な目撃者の証言と、極めて明瞭な写真証拠の発見によって確認された。…すでに述べた犯罪に加えて、第 325 憲兵大隊、205 憲兵旅団、および合同の訊問・聞き取りセンターによる虐待があった。」

[https://en.wikipedia.org/wiki/Taguba\\_Report](https://en.wikipedia.org/wiki/Taguba_Report)

タグバは、軍人生涯の終わりに、儲かるコンサルタントの役職につき、理事会メンバーになれる3つ星将軍の地位の代わりに、引退させられた。

「将軍の報告書」という Seymour Hersh の報告は、米軍が、武官も文官も含めて、誠実さを失っていることを示している。

<http://www.newyorker.com/magazine/2007/06/25/the-generals-report>

米軍の軍規を、真面目に受け取ったタグバ将軍の運命と、フォックス“ニュース”の非誠実、それに必要のために喧伝されている、意味の通らない名誉メダルを受賞した、無神経な Dakota Meyer を比べてみるならば、いかに誠実さが、無知とプロパガンダに取って代わられたかがわかる。

民主党集会代表団の「もう戦争はいらない」という抗議を、軍隊に対する不敬であると曲がった解釈をしたダコタ・マイヤーは、「アメリカは希望の光だ」と宣言した。

<https://www.yahoo.com/news/medal-honor-recipient-reacts-disrespect-140945017.html>

世界は全くそんなふうには見ていない。あらゆる世界的な世論調査において、アメリカは圧倒的に、平和への最大の脅威としてランクされ、イスラエルがそれに続いている。ワシントンの戦争屋が指名する、北朝鮮やイランのような“脅威”は、世界の世論では、ほとんど脅威とされていない。

ずっと昔、アメリカ人が“リベラル”と“コンサーバティブ”に分類され、互いに対立させられている間に、分けた者たちは、彼らの市民的自由と繁栄を取り上げた。自分が“保守”だと思っている、フォックス“ニュース”の馬鹿者も、栄誉メダルの受賞者も、軍隊に敬意を払わないのはリベラルだと考えていて、軍隊を憎んでいるために“リベラル”は戦争に反対なのだと思います。もちろん、事情を知っているアメリカ人は、戦争を望まなかったのは保守だったことを知っている。第一次大戦でも第二次大戦でも、アメリカが戦争に巻き込まれるのに反対したのは、保守であって、リベラルではない。リベラルがより積極的だった。

フォックス“ニュース”も、栄誉メダル受賞者も、民主党のヒトラーリーがすっかり戦争好きで、もっと戦争を求めていることは念頭にない。戦争を望まない人々は、第三次大戦が核戦争で地球上の生命が減びることを理解している。フォックス“ニュース”の阿呆共や、無神経な栄誉メダル受賞者に侮辱された人々は、アメリカを救うだけでなく、地上のすべての生命を、愚かで、向こう見ずで、傲慢な戦争好き大衆から、救おうとしている人々である。

誰にとって、アメリカは“希望の光”なのだろうか？ アメリカは、過去 15 年間に、アメリカの戦争によって殺され、傷害を負い、住処を追われた、何百万という人々にとって、希望の光なのだろうか？ アメリカは、イスラエルが射的場に使っているガザ・ゲットーに閉じ込められたパレスチナ人にとって、希望の光なのだろうか？ アメリカは、ワシントンがその人民代表による政府を恒常的に転覆させている、ラテンアメリカの人々にとって希望の光なのか？ アメリカは、その軍事基地によって包囲され、悪意ある言葉で悪魔化され、ウソによる説明をされているロシアや中国にとって、希望の光なのか？ アメリカは、自分たちの雇用と未来をオフショアリングによって奪われている、中間階級にとって希望の光なのか？ アメリカは、1996 年のクリントンの、「個人的責任と就職機会和解法」によって公的援助を完全に失った、貧民層にとって希望の光なのか？

アメリカは、我々の経済の未来と市民的自由をとともに略奪する“1パーセント”にとってのみ、希望の光なのである。

人は勇敢でなくても聡明な場合があり、聡明でなくとも勇敢な場合がある。兵士というものは後者のカテゴリーに入る。彼らは“1パーセント”のために働き、彼らの肉体や精神の傷害に対してメダルで報酬を払われる。

過去 15 年間に、“希望の光”は、7つの国家の全体あるいは部分を破壊した——アフガニスタン、イラク、リビア、ソマリア、イエメン、パキスタン、それにシリア。“希望の光”は、ホンジュラス、ウクライナ、エジプト、アルゼンチン、それにブラジルの人民代表政府を転

覆させ、後釜に右翼のならず者を据え、ベネズエラ、エクアドル、ボリビアでは、選挙による政府の転覆を必死に狙っている。“希望の光”が引き起こした、死と苦しみの途方もない範囲は、歴史上、前例のないものである。

それでも足りぬと言わんばかりに、“希望の光”は現在、無謀にも、無責任にも、2つの核大国——ロシアと中国——を、あまりにも明白で透明なウソによって正当化された、軍事的包囲によって脅迫している。我々はプロパガンダ7・24を聞いている。“リベラル”なNPRでさえ、ロシアについてウソをつくことに専念している。アメリカが攻撃しようと準備している2つの核大国に、それを納得させることができるだろうか？

ロシアとの軋轢は望まない、またNATOの存在の意味を認めない、と言っているのは共和党大統領候補者のドナルド・トランプである。にもかかわらず、“リベラル”のメディアは、機会さえあれば、トランプを悪魔化しようとしている——売春婦メディアが、平和を求める者ウラジミール・プーチンを悪魔化するように。

彼らは声を張り上げている——「ヒトラーにやらせて、もっと戦争しよう！」

フェミニストは、女性の権利のために、ヒトラーに戦争をやらせようとしている。

ネオコンは、彼らの世界覇権イデオロギーを実現するために、ヒトラーを求めている。

軍/安全保障複合企業とウォール街は、彼らの利益のためにヒトラーを望んでいる。

なぜ悪魔化されるのが、核大国との危険な紛争を避けたいと言っている、ドナルド・トランプなのか？